

## 意見

災害時の円滑な対応につながるよう、活用方法を研究しては。



**Q** 保険事業勘定の不用額が大きいが、介護保険料を下げることはできないのか。

**A** 介護保険料は、基本3年ごとに見直すこととなっている。来年度からの保険料は、現在策定中の第7期計画により定める。策定中のため、介護保険料が上下するかは不明だが、介護保険事業運営基金は第7期計画時に投入する予定である。

**Q** 個人番号カード交付率の向上に向けた取り組みは。

**A** 交付率は、7月末時点で県内4位である。個人番号カード普及のため、ホームページで広報を行うほか、土日しか来庁できない方のため、閉庁日にも交付窓口を開くようにしている。

**Q** 各小中学校のテレビの更新は。

**A** 購入する場合とリースする場合の費用を比較し、安価で5年後に町へ譲渡されるという条件も勘案し、リース方式による更新にした。また、パソコンも接続できるテレビを選んでいる。



**Q** がん検診受診の取り組みは。

**A** 健診後、精密検査が必要な方は、電話等により受診勧奨を行っている。

## 意見

がん発見率をホームページ等で公開するなど、受診への関心を高めるように工夫しては。



がんの早期発見が、健康寿命につながる。

**Q** 学校営繕に関し、危険箇所工事着手を早期にできないのか。

**A** 夏休み等の児童生徒がいない時期になってしまふ。危険箇所については、工事完了まで児童生徒が入れないよう処置をしていた。調査・設計等で時間がかかる場合もあるが、早急に取り組むべき工事は早期に着手できるように検討する。

## 水道事業会計決算審査の内容

**Q** 水道の有収率は。

**A** 水道管の漏水対策を実施したことで少しずつ改善しているが、95%程度が限界であると考えている。今後、数値が下がった場合は、漏水調査を実施し対応したい。

